

福生市議会 **だより**

FUSSA

No.202

発行 福生市議会
平成28年7月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成28年 第2回定例会

英語教育推進地域事業を含む 一般会計補正予算を可決

平成28年第2回定例会は、6月7日から6月24日まで会期18日間で開催されました。14名の議員の一般質問の後、専決処分の報告1件、条例の一部改正など市長提出議案6件が審議され、新たに陳情3件が提出されました。

本会議の経過

▼1日目(7日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。

続いて、全国市議会議長会より表彰された議員へ表彰状の伝達が行われました。そして、加藤市長の3期目の就任にあたっての発言があり、その後、4名の議員が一般質問を行いました。

▼2日目(8日)は、5名の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(9日)は、5名の議員が一般質問を行い、14名の議員の一般質問を終了しました。

▼4日目(10日)は、福生市国民健康保険税条例

の一部を改正する条例についての専決処分の承認が求められ、原案のとおり承認されました。また、市長提出議案4件は、提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。なお、福生市表彰条例に基づく一般表彰1件については、委員会への付託は省略され、原案のとおり同意することに決まりました。

▼5日目(24日)は、最終日で、委員会へ付託した議案4件が可決され、続いて、陳情1件が不採択となりました。また、新たに提出された「福生市教育委員会委員の任命について」は、慎重審議の上、即決で同意されました。なお、審査した陳情5件は継続審査となり、今定例会を終了しました。

「議会日誌」

11日	▼4月	全国市議会議長会基地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会議
12日		天皇皇后両陛下下行幸啓
15日		東京都議会議長会理事会・臨時総会
19日		東京都議会監査委員会
20日		東京都議会監査委員会
22日		例月出納検査
26日		関東市議会議長会定期総会
9日	▼5月	日の出町視察来市
11日		福岡県大野城市視察来市
17日		定期監査(18日まで)
18日		三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議
19日		全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会(20日まで)
20日		西多摩衛生組合・瑞穂町環境問題連絡協議会定期総会
23日		関東都市監査委員会定期総会
24日		西多摩地区議長会定期総会
26日		東京都議会議長会定期総会
28日		例月出納検査
28日		東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会
28日		議会改革に関する特別委員会行政視察(27日まで)
27日	▼6月	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会・総会
30日		西多摩衛生組合事務事業説明会
31日		議会運営委員会
6日		全国市議会議長会定期総会
7日		特別区議会議長会、東京都議会議長会及び東京都町村議会議長会北京市区人民代表大会友好代表団歓迎式典
7日		第2回定例会1日目
8日		議会運営委員会
9日		第2回定例会2日目
10日		議会運営委員会
10日		第2回定例会4日目
10日		全員協議会
14日		建設環境委員会
15日		市民厚生委員会
16日		総務文教委員会
17日		横田基地対策特別委員会
21日		議会改革に関する特別委員会
21日		議会運営委員会
23日		例月出納検査
24日		第2回定例会5日目
24日		全員協議会
28日		議会運営委員会
28日		東京都町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会

可決された案件	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面



(5月29日福生市消防団ポンプ操法審査会にて撮影)

▲福生市消防団が東京都代表として全国消防操法大会(10月14日・長野オリンピックスタジアム)に出場します!

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、条例の一部を改正する条例について専決処分承認を求めたもの。

国民健康保険税の課税額は、基礎課税額の課税限度額を52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を17万円から19万円に変更。国民健康保険税の減額は、均等割5割軽減の対象世帯の被保険者の数に乘ずる金額を26万円から26万5千円に、均等割2割軽減の対象世帯の被保険者の数に乘ずる金額を47万円から48万円に変更。経過措置として改正後の同条例の規定は、平成28年度以後の年度分の国民健康保険税について適用。

▽福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

厚生労働省令の家庭的保育事業等の設備及び運

営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所A型等の准看護師の配置に係る特例並びに小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の職員配置に係る特例に関する規定を整備するもの。

本則の改正のほか、附則は、小規模保育事業所A型、保育所型事業所内保育事業所の保育士配置の特例的運用を可能にする規定を追加。附則第6項は、児童の人数に応じて必要となる保育士の数が少数となる時間帯は、保育士1人並びに保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者1人の配置で対応することを認め、附則第7項は、必要となる保育士の算定に当たり、幼稚園教諭、小学校教諭等の免許保有者を保育士とみなすことができるとし、附則第8項は、1日8時間を超えて開所した場合、定員に応じて配置しなければならぬ保育士数を超えて必要となる職員については、保育士と同等の知識及び経験を有すると認められる者を保育士とみなすことができるとした。

附則第9項は、附則第7項、第8項を適用するときには、これを適用しない場合に必要とされる職員総数の3分の2以上は保育士資格者を置かなければならないと規定。

◎福生市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部改正等に伴い法との整合性を図り引用する規定を整理するもの。

歳入は、国庫補助金の保育所等整備交付金及び体育館非構造部材落下防止対策事業補助金を追加。都補助金は子ども家庭支援区市町村包括補助事業補助金、一時預かり・定期利用保育事業補助金、元気高齢者地域活躍推進事業補助金、消費

◎平成28年度福生市一般会計補正予算(第1号)

歳入は、国庫補助金の保育所等整備交付金及び体育館非構造部材落下防止対策事業補助金を追加。都補助金は子ども家庭支援区市町村包括補助事業補助金、一時預かり・定期利用保育事業補助金、元気高齢者地域活躍推進事業補助金、消費

者行政推進交付金及び体育館非構造部材落下防止対策事業補助金、都委託金は、日本の伝統・文化理解教育推進事業委託金、安全教育推進事業委託金、英語教育推進地域事業委託金、総合的な不登校児童・生徒支援モデル事業委託金、道徳教育推進事業委託金及びスーパーアクティブスクール事業委託金を追加。雑入は、多摩・島しょ広域連携活動助成金を追加。市債1億円減額は、臨時財政対策債。歳出は、児童福祉費の

定期利用保育事業経費、杉ノ子第三保育園建設費補助金及び見守り事業のシルバー人材センター委託の追加。保健衛生費

は、B型肝炎の定期予防接種の経費、商工費は、多摩地域観光資源広域活用協議会負担金と消費生活相談体制充実、高齢者対象の啓発事業経費、土木管理費は、旧東海居の無償使用に係る維持管理経費、教育総務費は、都委託事業7件分で、日本の伝統・文化理解教育推進事業、安全教育推進地域事業、英語教育推進地域事業、総合的な不登校児童・生徒支援モデル事業、道徳教育推進事業及びスーパーアクティブスクール事業を追加し、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億603万4千円を追加、249億8603万4千円とするもの。

また、地方債の補正は、臨時財政対策債の限度額4億円を3億円に減額するもの。



▲和太鼓を使った授業の様子(福生第三小学校)

◎福生市表彰条例に基づく一般表彰について

福生市表彰条例第4条第1号該当の個人18名、同条第3号該当の法人1件を一般表彰するもの。個人は、文化財保護審議会委員として貢献された北原進氏、学校歯科医として貢献された蛭名勝彦氏、交通安全推進委員会委員として貢献された秋山朋勝氏、行政改革推進委員会委員として貢献された山下真一氏、明るい選挙推進委員として貢献された横山百世氏、保護司として貢献された石川庄二氏、消防団員として貢献された、現在も活躍中の相羽克洋氏、佐藤隆一郎氏、古谷光良氏、小泉洋司氏、鈴木大基氏、小幡洋介氏、大盛浩行氏、桑林大和氏、古谷純一氏、高橋良輔氏、長田一樹氏、田村力氏の各氏。法人は、市内の小学校に太陽光発電設備一式を寄附されたアサヒビール株式会社。



▲酒蔵・地酒の活用プロジェクトPRリーフレット

◎福生市教育委員会委員の任命について

平野裕子氏の任期満了に伴い、新たに野口哲也氏を任命することに同意するもの。

陳情

(不採択理由) 生徒の実態が多様化している中で、東京都は都立立川高校定時制を閉課程しても不利益がないよう配慮した計画を検討しているため意に沿いない。 都立立川高校定時制存続を求める意見書提出に関する陳情書(28-2号)

討論

●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

■反対

今回の条例改正は、国の基準に準じて引き下げたもので、看護師又は准看護師や保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者として、幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者を保育士とみなすことができるとするものである。

■賛成

近年、女性の就業率上昇等により、待機児問題が深刻な都市部では、受け皿の拡大に伴って保育園の増設が進む一方で、保育士の有効求人倍率は年々高くなるなど、保育の担い手確保は喫緊の課題である。

この条例改正は、この保育の労働力需要に対応するための改正であり、保育の質を落とさず、保育士が行う業務について要件を一定程度柔軟化することで、保育の担い手の裾野を拡げ、保育士の勤務環境の改善にもつながる。

これにより担い手の確保に弾力的な運用がはかられ、朝夕の早い時間や遅い時間にシフトに入らなければならない保育士の負担軽減や急な退職などで次の担い手を見つけることが困難な場合にも、柔軟に対応が図れるという効果がある。

また、砂川高校の夜間部の拡大が検討されているが、立川高校定時制は、遠くからでも何とか通えるのは、立川駅から徒歩数分という立地条件の良さであり、砂川高校定時制がそういった立地条件にかなうのか疑問である。 これらを勘案し、都立立川高校定時制の存続に賛成する。

◎都立立川高校定時制存続を求める意見書提出に関する陳情書

幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭についても、保育士とみなすことで、保育士にはない専門性を保育現場に活かせるので、この議案に賛成する。

立川高校定時制は、この数年既に1次募集で定員を上回る応募状況であり、また他の定時制高校についても2次、3次募集で最後のセーフティネットとして更に多くの生徒が救われている。

■賛成

また、チャレンジスクールと夜間定時制高校の違いであるが、前者は不登校だった生徒でも通いやすく、能力の伸ばしやすい単位制の学校であるが、後者は、少人数学級として、昼間働しながら夜間勉学する勤労生徒をはじめ、帰国子女、高校中退者、中学校まで不登校であった生徒等多様な課題を抱えた生徒の受け皿となっており、前者がセーフティネットとして代替できるものではない。

食品ロス削減に向けた取り組みについて

青木 健 議員

質問 市として、食品ロス削減に向けどのように取り組むのか。

市長 食品ロスは食に関する様々な場所で発生しており、削減するには、加工食品等の製造、流通、販売に関する過剰生産の改善や、食べ切れる分量での飲食の提供、消費者の意識改革等、一人ひとりが現状について理解を深め、主体的に行動するよう訴えることが重要だ。市としては、食品ロスの現状等について理解を深めるため、まずは市民や事業者等に対し、市ホームページや清掃日より、かんきょう通信等を通じて意

識啓発を行いたい。



▲食品ロス削減についてのパンフレット（消費者庁）

一般質問（要旨）

市政のここを問う

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページに全て掲載してあります。

詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー、図書館で、または福生市ホームページからご覧ください。

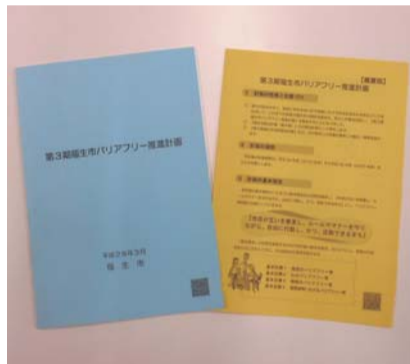
高齢者にやさしいまちづくりについて

佐藤 弘治 議員

質問 第3期バリアフリー推進計画を踏まえ、高齢者に優しいまちづくりには何が必要と考えるか。

市長 平成28年3月策定の第3期福生市バリアフリー推進計画に基づき、施設のバリアフリー化の着実な実施に努める。ソフト面のバリアフリーでは、高齢者、障害者等市民一人ひとりの人権尊重を基本に、引き続き心のバリアフリーやユニバーサルデザインの推進に取り組む。情報や施策面等におけるバリアフリー等の取り組みにも努め、民間事業所や市民とともに高齢者、障害者に優し

いまちづくりを進める。



▲第3期福生市バリアフリー推進計画

3期目の市政運営に向けて

乙津 豊彦 議員

質問 3期目の市政運営に対する「るまち福生」を実現したい。意気込みを伺う。

市長 今までに築いたまちづくりの流れを途絶えさせず、更なる定住化施策を展開していく。継続的に子育て支援策を進めるとともに、定住化に向けた住宅施策も推進していく。また、特色ある教育施策や防災対策の強化も進め、中心市街地の活性化に向けた福生市商工会の取り組みを支援していく。「7つのまちづくりの目標」そして「福生市人口ビジョン・総合戦略」の施策を推進し、「住んでよかった 住み続けたい」な



▲福生市人口ビジョン及び総合戦略の冊子

インクルーシブ教育システム構築の現状は

三原 智子 議員

質問 インクルーシブ教育システム構築の状況と今年度の取り組みは。

教育長 関係機関が連携し、特別支援教育の一層の推進を図ることが重要だ。インクルーシブ教育システムの構築状況だが、平成28年3月、本市の特別支援に関する各施設等の役割やサービスをまとめたハンドブックや発達障害への理解と対応を啓発するリーフレットを作成した。今年度は、来年4月から教員が各学校を巡回する特別支援教室の開設準備を着実に展開するほか、来年3月までに「福生市副籍交流事例ブック

（仮称）」を作成する。



▲発達障害への理解と対応のためのリーフレット

二世帯住宅と二世帯同居の減額について

町田 成司 議員

質問 二世帯住宅と二世帯同居の場合、固定資産税の減額についてはどのように変わるのか。

市民部長 二世帯同居が二世帯住宅と同様の取り扱いになるかについてであるが、二世帯住宅は、福生市の固定資産（家屋）評価事務取扱要領に基づき、構造上において2戸分として評価されるため減額されるものであり、その構造を要しない場合には減額にはならない。



平成28年第2回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ56人
- ・インターネット議会中継閲覧数（6月7日～24日）延べ413件

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成28年第3回定例会は、9月5日(月)から9月29日(木)までを予定しています。

◆本会議（予定）午前10時開会

9月5日（月）～8日（木）及び29日（木）

◆決算審査特別委員会（予定）午前9時30分開会

9月12日（月）～15日（木）

◆常任委員会（予定）午前10時開会

9月20日（火）、21日（水）及び23日（金）

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

在宅生活の支援、在宅医療・介護の連携推進について

五十嵐みさ 議員

質問 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問サービスへの認識は。

福祉保健部長 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるよう、24時間365日、介護と看護の一体的なサービスを必要なタイミングで受けられるものだ。第6期介護保険事業計画では来年度からのサービス提供を目指しており、適正に運営できる事業者の参入を要請していきたい。このサービスに対応する出入口の設置については、サービス利用者個々

の状況により対応する。



ふっさっ子未来提言について

清水 義朋 議員

質問 ふっさっ子未来会議の提言を踏まえた今年度の計画は。過去の計画の進捗管理についても伺う。

教育長 本市の学校教育改革は、ふっさっ子未来会議の6つの未来提言を具現化したもの。平成26年度は不登校総合対策等5計画を作成し、昨年度から実施している。昨年度は「福生市英語教育推進計画」等3計画を作成し、今年度から実施中。今年度も「福生市立学校の体力向上策」等3計画を策定し、来年度から実施予定。進行管理は既存事業を踏まえ、平成32年度までの計画実施に取り組

み、見直し年度に改善を図る。



▲ふっさっ子未来会議提言書

告示前の選挙運動について

杉山 行男 議員

質問 告示前から立候補予定者の名前をスピーカーで言うのは日常的な状況だが、選挙運動は告示以降でなければ許されないのでは。

選挙管理委員会事務局長 公職選挙法によれば、当該選挙の立候補届出日からでなければ選挙運動はできない。それ以前に選挙運動をすることを禁止している。選挙前に候補予定者名をスピーカー等で宣伝した場合、公職選挙法等で違法性があれば取り締まるのは警察、最終的には司法が判断する。福生市選挙管理委員会は個別事案に答える立場にない。



▲あきい選挙のイメージキャラクター

障害者差別解消法施行での取り組みについて

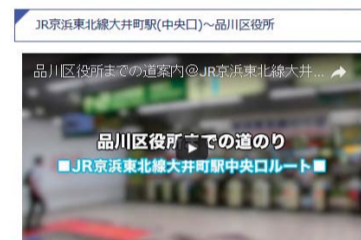
堀 雄一朗 議員

質問 合理的配慮について、見直しや改善への市の取り組みを問う。

市長 平成15年に耳が不自由なことを示した「耳のシンボルマーク」と「筆談をします」と記したカードを市内公共施設の窓口を設置し、筆談用紙を用意して対応している。手話が必要な方は、手話通訳奉仕員の派遣申請をしてもらい対応している。

関と協議しながら進めたい。

福祉保健部長 今後の取り組みについては、障害者とのコミュニケーションを密にすることで、双方の合意のもと配慮が可能になると考える。予算が伴う配慮については、関係機



▲車いす利用者向け 動画の道案内 (品川区HP)

横田基地内での事業実施について

田村 正秋 議員

質問 青少年海外派遣事業が休止となったが、横田基地で何らかの形で事業計画を図れないか。

教育長 青少年海外派遣事業については今年度は事業を休止し、来年度からの新事業実施に向けて、安全性を考慮した上で、より多くの生徒が参加できる代替事業の検討を行い、現在情報収集に努めている。横田基地内での事業実施については、数年前、教育委員会において今後の方向性につき意見交換した中で、候補地としてどうかという意見もあったが、軍事施設という性格上、本事業の実

施は難しいと考える。



▲青少年海外派遣事業での英会話研修の様子

就学援助について

池田 公三 議員

質問 市では、生活保護基準の少し上の収入がある世帯は就学援助が受けられない。転出への原因になりうるが、改善すべきでは。

助を広く行っているところだ。

教育長 就学援助費と転出との因果関係は特定できないと考える。就学援助費については、教育委員会として今後も全ての世帯に対して、遺漏なく就学援助費の申請書の提出をしていただき、基準に従って支援したい。また、その他の保護者負担軽減措置として、全ての児童・生徒に対し補助教材、あるいは修学旅行費など、他自治体を上回る市独自の補



第66回 福生七夕まつり

8月4日(木)～7日(日)

今年も民踊パレードに参加します
「福が生まれるまち」の七夕まつり



教育の政治的中立性について

原田 剛 議員

質問 本市の教育現場の政治的中立性はどのように担保されているか。

教育長 本市の全教員は週ごとの指導計画を毎週末に校長へ提出し、決裁を受ける。翌週末には、その週の授業記録をまとめ、次週の計画を立て同様に決裁を受ける。

校長は授業観察や各教室の巡回を行い、授業内容と教材の取り扱い等を確認している。一方、教育委員会教育部職員が5月末までに全校を訪問し、週ごとの指導計画の確認や授業観察を行った。今後も、適宜適正に政治的中立性の担保について各学

校を指導していく。



▲授業風景（福生第二中学校）

今年度の中心市街地活性化の事業内容と取り組みは

幡垣 正生 議員

質問 中心市街地活性化へ新たに組織体制を整えたが、今年度はどのような事業内容に取り組むのか。

市長 今年度はまちづくり検討会を設立・運営し勉強会等を開催して意見集約する。4月26日に発起人会を開催し、6名の方が世話人として中心的役割を担うことを確認した。5月26日の第1回検討会では、規約制定や27年度のアンケート結果報告等を行った。今後は、第1回検討会に参加しなかった権利者に活動内容の周知や検討会へ参加を呼びかけ、意見を伺う。市も商工会と連携し、

行政支援の方向性を模索する。



▲まちづくり検討会の様子

平成28年 熊本地震災害義援金の送金について

熊本地震による被災者支援のため義援金を送金しました。

この度、熊本地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

福生市議会では、被災地における今後の復旧・復興にお役立ていただくため、全国市議会議長会を通じ、九州市議会議長会へ義援金20万円を送金しました。

福生市緑の基本計画と加美上水公園などについて

奥富 喜一 議員

質問 加美上水公園のボランティア活動や旧東海居の活用について伺う。

市長 加美上水公園では、専門的知識を有するボランティアが様々な活動をしている。植生の取り組みでは貴重な植物が自生して数も増え、市民が緑に親しむ貴重な場所となった。日頃の活動には大変感謝しており、今後も共に活動していきたい。

旧東海居については、加美上水自然塾の活動の場として役立ててほしいので市に無償貸与したいとの申し出があり、市民が緑と水を学び、親

しむ拠点として当分の間活用したい。



▲加美上水公園ボランティア活動の様子

傍聴のご案内

お気軽にお越しください。

次回定例会の日程は3面をご覧ください。



▲議場の議席風景（北側）

傍聴の受付
会議当日、市役所第二棟3階の議会事務局へ。

傍聴席
5階議場の傍聴席は53席です。
4階委員会室の傍聴席は6席です。



▲議会運営委員会の風景



▲議場の議席風景（南側）

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジジー方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

○デジジー（DAISY）とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

議会事務局 ☎042-551-1523

「ご利用くださいインターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

平成28年 第2回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 乙津 豊彦 (併用)	1 市政運営について (1)3期目の市政運営に向けて (2)米軍横田飛行場へのオスプレイ配備について 2 教育行政について (1)通学路について	⑧ 池田 公三 (一問一答)	1 核兵器廃絶を目指す平和首長会議への加盟について 2 教育・子育て・医療・介護に積極的な予算付けを行うことについて 3 子育て世代の人口流出ストップのカギはどこにあるかについて (1)子どもと子育て世代人口流出の現状について 4 子育て世代の家庭に対する支援等の状況について (1)住宅支援について (2)就学援助について (3)学校給食費の無料化等の支援について
② 町田 成司 (一問一答)	1 人口減少を食い止める定住化策について (1)今までの定住化策の取り組みについて (2)固定資産税から見る定住化策について 2 観光行政について (1)福生市における観光事業の現状と今後について 3 中小企業振興金融制度及び小口零細企業金融制度について 4 道路整備事業について (1)富士見通り等の進捗状況について	⑨ 五十嵐 みさ (併用)	1 地域包括ケアシステムの構築について (1)在宅生活の支援、在宅医療・介護の連携推進について (2)「住まい」の充実について (3)介護予防・日常生活支援総合事業について 2 男女共同参画の推進について (1)女性活躍推進法について (2)男女共同参画の条例化について 3 玉川上水近辺の景観を活かした整備について (1)玉川上水のユネスコ世界遺産登録について (2)宿橋通りから加美上水公園付近の景観整備について
③ 青木 健 (一問一答)	1 災害対策について (1)福生市地域防災計画について (2)避難所運営について (3)通信環境の整備・確保について (4)耐震シェルター・防災ベッドについて (5)災害時の対応に備えた防災士等の資格取得について 2 食品ロスについて (1)食品ロスの現状について (2)食品ロス削減に向けた取り組みについて	⑩ 杉山 行男 (一問一答)	1 福生市長選挙について (1)開票の公開について (2)JICAの研修について (3)選挙運動と政治活動について (4)確認団体について 2 ふっさっ子スタンダードの実践状況について (1)学校での定着状況について (2)新しく赴任した教員への周知と実践等の指導について
④ 佐藤 弘治 (一括)	1 高齢者施策について (1)本市の高齢者の現状と施策の基本的な考え方について (2)高齢者の生涯学習について (3)高齢者にやさしいまちづくりについて 2 地域行政及び教育行政について (1)町会・自治会の区割りと学区について (2)学校の適正規模・適正配置について 3 防災行政について (1)本市の被災時における支援の受入体制について (2)り災証明書の発行について	⑪ 田村 正秋 (一括)	1 ごみ対策について (1)市内のごみ収集の現状について 2 市内のイベント等の災害時における対応について (1)大会、式典等における避難場所等の周知について 3 シティセールスについて (1)活力とにぎわいのあるまちづくりについて 4 海外派遣事業の休止について (1)横田基地内での事業実施について 5 通学路の見守りに関して (1)見守り活動の内容と現在の状況等について
⑤ 三原 智子 (一括)	1 環境保全への取り組みについて (1)せっけん運動について (2)公共施設でのせっけん使用について 2 福生市特別支援教育推進計画第三次実施計画「福生市特別支援教育アクション20」について (1)計画の進捗状況について、特にインクルーシブ教育システムの構築状況及び平成28年度の取り組みについて	⑫ 幡垣 正生 (併用)	1 中心市街地の活性化について (1)平成28年度の事業内容と取り組みについて 2 まちづくりにおける体育施設の活用について 3 特別支援教育について (1)平成28年度の進捗状況について 4 療育事業について (1)未就学児の療育の現状について (2)今後の取り組みについて
⑥ 清水 義朋 (一括)	1 スポーツ振興について (1)オリンピック・パラリンピックについて (2)健康施策におけるスポーツ推進について (3)運動部活動について 2 地方創生の取り組みについて 3 ふっさっ子未来提言について	⑬ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)米兵犯罪は基地がある限りなくならないことについて (2)C V-22オスプレイの配備について (3)飛行回数及び夜間離発着回数等の訓練増加について (4)横田基地関連の思いやり予算について 2 自由広場貸付事業(住宅建設)について 3 国民健康保険税を1人1万円引き下げることにについて 4 福生市緑の基本計画と加美上水公園などについて
⑦ 堀 雄一郎 (併用)	1 障害者差別解消法について (1)周知徹底について (2)合理的配慮について (3)条例の制定・相談窓口や障害者差別解消支援地域協議会設置について (4)動画や言葉で道案内するバリアフリー情報の提供について 2 福生市英語教育推進計画について (1)英語教育推進地域指定について (2)福生市の目指す英語教育と今後について	⑭ 原田 剛 (併用)	1 政治参画について (1)若者の市政参画について (2)若者の投票率について 2 自殺対策について (1)状況及び相談体制について (2)ゲートキーパーについて 3 教育行政について (1)教育の政治的中立性について (2)道徳教育について (3)特別支援教育について

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情の審査が6月14日、15日、16日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、横田基地対策特別委員会、議会改革に関する特別委員会が6月17日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

6月14日に委員会が開

催され、開会后、旧東海居を視察しました。その後、3件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。また、3件の陳情は継続審査となりました。

◆福生市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

◆福生市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例

本2案については、同じ風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律改正に伴うものであり一括して審査しました。問 風営法第2条第1項第5号及び6号に該当する喫茶店、バー及びその

他設備を設けて客に飲食させる営業で、照明や広さなどの制限の規制を外すこととなるのか。

答 改正前の第5号「低照度飲食店」及び第6号「区画飲食店」は、改正後でも第2号及び第3号として、引き続き規制の対象となる。

問 市内に影響する店舗はあるか。

答 今回の改正で影響を受ける店舗はない。

◆平成28年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(建設環境委員会所管分)

問 観光対策事業の多摩地域観光資源広域活用協議会負担金で、西多摩の酒をPRしていくが、地元の蔵元でビールを製造しているのだから、これをPRして、地元を賞を取るような有名な飲食店

があるのだから、それを含めたプロモーションの考え方についてはどうか。

答 本事業は日本酒で行い、グルメは日本酒と合うものをこれから探していくが、引き続き情報収集をしていきたい。

問 外国人観光客に酒を飲んでもらうのか、または輸出のための事業か。

答 本事業は酒を通じて多摩地域の宣伝をすることであり、外国人を含めた観光振興をすることが目的である。

問 旧東海居の無償借り上げに伴う公園管理事務費のうち、防犯カメラ借料17万円は何台分か。

また、保険料5千円は何の保険か。

答 防犯カメラは4台分、保険料は市有物件建物総合共済保険料である。

市民厚生委員会

6月15日に委員会が開

催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。また、2件の陳情は継続審査となりました。

◆福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 今回の改正の目的及び、当市における保育士の現状は。

答 待機児解消のための保育の受け皿拡大に伴う保育人材確保のため、弾力的な運用を図ることや、朝夕の早い時間や遅い時間にシフトに入らなければいけない保育士の負担軽減を図る。なお、当市の保育士の配置の現状は認可基準を満たしている。

問 今回のこの条例改正のねらい・効果は。

答 今回の条例改正のねらいとしては、保育の担

いの確保に弾力的な運用を図ることができ、また、シフトに入る保育士の負担軽減を図るといったこともある。効果としては、急な退職などで保育園が次の担い手を見つけていることが困難な場合、柔軟に対応が図れるということがある。

◆平成28年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(市民厚生委員会所管分)

問 学童クラブ見守り事業についての詳細は。

答 学童クラブ入所児童の増加に伴い、市内12クラブに各1名、シルバークラブセンターから派遣された見守り員を、基本的には通年を通して午後2時から午後5時まで配置し、学童クラブの指導員とともに児童を見守り、安全性を図る。

問 予防接種事業について、これまで任意接種であったB型肝炎予防接種が定期接種になった経緯と、今回の補正に関わる人数等の想定はどの様になっているか。

答 B型肝炎は母子感染や、輸血、予防接種での注射器の使いまわし等による水平感染の予防対策が講じられているにもかかわらず、現在も増加しているため、B型肝炎ワクチンが定期接種化された。今回の補正では、平成24年度から26年度の出

生数を参考に約450名、接種回数は合計3回約8



▲旧東海居を現地視察(福生1773-2外 加美上水公園新堀橋付近)

総務文教委員会

6月16日に委員会が開

催され、開会后、東福生駅西口・東口自転車駐車場を視察しました。その後、1件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。また、1件の陳情は不採択となりました。

◆平成28年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(総務文教委員会所管分)

問 今回の補正予算は教育費に2563万4千円を追加し、臨時財政対策債1億円を減額するもの。

問 日本の伝統・文化理解教育推進事業の内容は。

答 一つは、児童・生徒の専門的知識や技能を高め、積極的に発信する態度を育成するために地域の外部人材を活用する。二つは、ALT(外国語指導助手)を活用し、地域や日本の伝統・文化の発信、紹介等を行う。

問 本事業のALTと本

市のALTの違いは。

答 本事業のALTは、日本の良さを発信する対象として派遣されており、本市のALTは、英語教育を主として担う役割であるが、伝統文化の補助的役割を行うことも可能である。

問 都の教育委託事業を当初予算に計上せず、補正予算にした理由は。

答 3月の都議会でも可決されたのち、4月1日をもって正式決定されることとなっていたため。

問 道徳教育推進校事業では、どのような研究開発を進めていくのか。

答 指定を受けた五小・一中では、年間を通して講師を招へいし、その指導を受けながら『特別の教科 道徳』に関する研究を行う。講師は、道徳教育の充実・発展に寄与した専門家を予定している。

問 スーパーアクティブスクール事業の内容は。

答 保健体育の専門性の高い指導教諭を中心に、体力向上のための事業を推進していく。

◆都立立川高校定時制存続を求める意見書提出に関する陳情書

反対意見 都立定時制の平均応募倍率が年々下がっており、他の制度も検討されているので、残念だが廃止もやむを得ない。

別意見として、実際の

廃止は平成35年に計画されており、他の受け皿も検討されているので不採択とされたい。

賛成意見 定時制の平均応募倍率が低下したから廃止とするのは反対であり、存続すべき。

別意見として、チャレンジスクールができるが定時制高校とは違うものであり、存続すべき。

以上のような意見の後、起立採決し、賛成少数で不採択となりました。



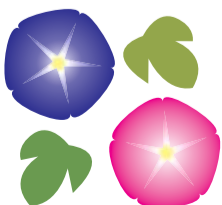
▲学童クラブの様子(さくらクラブ)

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。



▲東福生駅西口・東口自転車駐車場を現地視察



F-e（福生市環境マネジメントシステム）の取り組み

～私たちが変わり、私たちが変える エコシティふっさ～

福生市では、独自の「環境マネジメントシステム」を運用し、庁舎・施設等をはじめとした市全体における環境配慮を推進しています。

事務活動等における省エネ・省資源等の実践など、一人ひとりが意識的に実施すべき内容に関して、**議員も参加して取り組んでいます。**

例えば、ごみ減量への取り組みとして、缶、ペットボトルなどの購入を控え、「マイカップ」を使用、割りばしの使用を抑制し、「マイはし」を使用しています。

身近なこととして、ごみの問題や大気汚染など様々な環境問題が顕在化しています。資源を浪費する生活スタイルを変え、身近な生活から自分たちでやれることは、小さなことでも実行し、環境にやさしいまちを創ります。

(略称 F-e(エフ・イー) : Fussa environmental management system の略)



▲議員の「マイカップ」と「マイはし」はいつも庁舎内給湯室に!

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。

平成28年度においては、次の方が表彰されました。

議員25年以上 田村正秋 議員

特別委員会活動から

議会改革に関する特別委員会

(5月26、27日の行政視察を踏まえて)

6月17日に委員会が開催され、前回の調査研究を踏まえ、次の2件の議題について各委員からの意見を求めました。主な意見は次のとおりです。

1 議会の情報発信について(市議会だよりのレイアウト案を元に協議)

・一般質問の文字が増え、議員の顔写真が入るのはよい。議案数が少ない場合や視察報告が入る場合などが想定されるが、適宜対応すればよいと思う。

・トップページ写真を何にするかが重要だと思う。

・藤枝市議会は議員自らが編集作業をしており、当市議会もこれを検討してはいいかがか。

・現在、文章の作成、写真選定は議会事務局による。これは、第三者の編集による記事の公平性を担保している。議員自らの編集となれば広報委員会設置などの体制づくりをしなければ難しいと思う。

・藤枝市議会は各議員が伝えたい部分を各々独自に強調して伝えている。それが必要かどうかの議論が必要だと思う。

2 タブレット端末の導入に関する調査について

・本会議は問題ないが委員会や全員協議会で使っているのか疑問を感じた。本棚のアプリは個人的に気に入っているので使ってみたい。

・ウインドウズのオフィス365というソフトが使えることが分かった。大きさや操作性などからiPad(Air)が使いやすいと思った。

・iPadだけでなく様々なソフトがあることが分かった。どんなソフトでも使えば慣れると思うが、もっと検討していきたい。

・経費面、操作性を表現して比較してみるとよい。

・横文字の言葉が多く、慣れないので分かるようにしてほしい。市長部局で導入する機種と足並みを揃えるべき。

・ソフトとOSの様々な組み合わせが出来るので、も



▲逗子市議会のタブレット端末導入を視察

横田基地対策特別委員会

6月17日に委員会が開催され、横田基地に関する5件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 平成27年度防衛補助事業実施状況について

民生安定施設補助事業は、市道幹線II-19号線外1改良事業のうち第3工区と第4工区が実施された。事業費は1億6401万8千円、補助額は9438万8千円。防災食育センター整備事業には、事業費3億3885万円、補助額2億2957万2千円。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、消防団車庫改良工事(第四分

団)、中学校給食用設備整備等事業のほか、基金に積み立てた6事業を合わせ、全8事業が実施された。交付額の合計は3億9840万4千円。

2 空調復旧工事の補助率等の見直しについて

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づく補助に関して、平成28年度から電気料金等維持費補助の対象施設(小・中学校及び保育所等)の3級及び4級の空調復旧工事の補助率が引き上げられた。

3 平成29年度防衛補助事業概要要望について

平成29年度防衛補助事業の概要要望として次の事業を要望している。

①第三小学校防音機能復旧(復機) 工事設計委託(校舎・講堂) ②第五小学校防音機能復旧(復機) 工事設計委託(校舎・講堂) ③中央幹線排水路改修に伴う調査委託 ④新扶桑会館整備事業 ⑤防災食育センター整備事業で、事業費13億1871万3千円、補助額10億2290万4千円。

4 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

7月26日に委員会の全委員による防衛省及び北関東防衛局への要請行動

を行うため、要望事項案について協議を行った。要望は全8項目。

5 横田基地に関する情報等について

①日米合同委員会合意について「再編実施のための日米ロードマップ」により整備が完了した施設を合衆国政府に提供する。

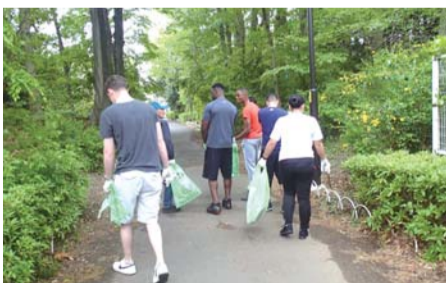
②横田基地所属機による災害支援として、熊本地震の災害救援活動のためC-130輸送機2機を派遣した。

③UH-1ヘリコプターの予防着陸について、4月22日キャンプ富士にて訓練中にエンジンサービスマンの点灯のため予防着陸を行った。

④人員降下訓練が3回行われ、市民から騒音による苦情が4件あった。

⑤5月8日にオスプレイ1機が横田基地に飛来した。

⑥横田基地有志によるボランティア活動等の報告があった。



▲横田基地有志による公園清掃ボランティア活動

編集後記

4月の熊本地震から引き続き、各地で大きな地震が続いています。熊本地震で甚大な被害がもたらされ、多くの方々が犠牲となりました。お亡くなりになりました皆様のご冥福をお祈りするため、今定例会の開会前には、黙とうを捧げました。心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。今定例会では、一般会計補正予算において、地方創生加速化交付金を活用して取り組む「酒蔵を活性化させた観光事業」について審議しました。酒蔵と日本酒をツールとした、青梅市、あきる野市、東村山市との地域間連携による広域的な事業です。地方創生推進の事業として、まちのにぎわいの契機となるよう期待されます。会期中には「はたる祭」が開催されました。梅雨時期にもかかわらず晴天に恵まれ、約3万5千人の来場者がありました。7月30日、31日には「町会・自治会の夏祭り」、8月4日から7日には「七夕まつり」が開催される予定です。皆様もぜひお出かけいただき、夏のにぎわいを楽しんでください。